

## 授業6

### 正しい立場をつらぬく

#### 目的

薬物使用に関する仲間からのよくない圧力に立ち向かうために、確固とした立場で、自己の考えを主張する方法を子どもたちに教える。

#### 到達目標

子どもたちは次のようなことができるようになる：

- 5年生の子どもたちが出会う可能性のある、薬物を使うよう圧力を受ける状況を明らかにする。
- 「内」と「外」の圧力を区別し、それらに対処する方法を述べる。
- 薬物を使うよう圧力をうける状況で、はっきりと自分の考えを主張し拒否するスキルの使い方を実演する。

#### 準備

- ライフスキル『みんなのれんしゅうちょう』
- 資料17のコピーを1部
- 資料18
- その他の準備物はパート4参照

#### 留意点!

#### Cautions!

この授業は、パート1から3までを行うと通常の2時間分の授業時間が必要になります。



ほとんどの子どもたちは、友人から薬物について知り、たいていは友人の家で大人が周りにだれもいないとき、初めてすすめられます。



## 今日の学習

### 〈パート1：みつける〉

子どもたちは、薬物を使うよう圧力を受ける状況を明らかにする。

### 〈パート2：つなげる〉

子どもたちは、よくない圧力に対処するよい方法を明らかにする。

### 〈パート3：やってみる〉

子どもたちは、さまざまな状況で、はっきりと自分の考え主張し、よくないさそいを断るスキルを練習する。



## パート1：みつける (15分)

### 薬物に出会う状況を明らかにし、その時の「内」、「外」からの圧力について述べる

子どもたちに、同年代の者が薬物使用の圧力を感じるかもしれない状況を明らかにするように言います。そして、それぞれの状況での圧力について話し合い、それらを黒板に一覧表にします。

他の人からうける「外」からの圧力と、自分自身の中からくる「内」からの圧力があることを確認します。子どもたちに、黒板にあげられた圧力がどちらのものか質問し、「外」と「内」と書き加え、分類します。例えば：

- 外 友人が、あなたに薬物をすすめること、あるいは、あなたに薬物を使用するよう説得すること
- 内 仲間に「入りたい」と望むこと
- 内 薬物を使うとどのような感じるか知りたがること
- 外 きつえんや飲酒を楽しそうに見せる広告
- 外 薬物を試すようちょう発するのはだれか
- 内 断る方法を知らないこと

一覧表に注目させながら、「外」の圧力はたいてい「内」の圧力をつくることを説明します。例えば、もし友人があなたに薬物を使用するようすすめると、あなたは「断ると友だちに悪い、あるいは嫌われるかもしれない」という「内」の圧力を感じるでしょう。

子どもたちに、黒板に書かれたすべての圧力は、薬物使用をする理由にならないことを、説明させてください。



## パート2:つなげる(25分)

### 1. 授業の目的を説明する

子どもたちに、薬物を使うことをすすめるよくない圧力を受け入れることは、私たちが自分の人生を自分で決める権利を捨てることを意味すること、そして、その結果起こる問題(クラス「公ちょう会」で取り上げられたような問題)に巻き込まれることになることを指摘します。

前回の授業では、薬物使用を「すすめる」(促す)、あるいは「防ぐ」(抑制する)影響について考えました。今日は、薬物を使うよう圧力を受ける場面に出会ったときの対処方法について学習します。

### 2. よくない「内」からの圧力に対処する方法を話し合う

薬物を使うよう圧力を受ける状況の中では、まず自身の「内」からの圧力に対処することです。この方法の一つは、あなたが正しいことを行うために自分自身と対話することです。

例 あなたの友人が飲酒している状況

よくない「内」からの圧力:「友だちがしていることを、やってみたい」

よい「内」からの圧力:「友人がすることを、すべてまねする必要はない」

子どもたちに、薬物を使うよう圧力を受ける状況の中で、自分自身に伝えるよいメッセージ(圧力)を提案させ、それらを黒板に書きます。次のような例をあげさせましょう。

- ◇ わたしは、問題にまきこまれないよう、自分を守るけん利を持っている。
- ◇ わたしは、両親の信らいを、台無しにしたくない。
- ◇ わたしは、選ぶのはわたし。わたしには他にも「選べるもの」がある。
- ◇ わたしは、「ノー」と言ってよかったと、きっと思う。
- ◇ 私は、自分が正しいと思うことを主張することができる。

子どもたちが、パート1であげた薬物を使うよう圧力を受ける状況に注目させ、それらの状況の中で、自分自身に伝えることができるメッセージを、何人かに「声にだして」発表するよう求めます。

### 3. この単元で学んだよくない「外」からの圧力に「ノー」という方法を確認する

自分自身の「内」からのよくない圧力にうまく対処できたら、「外」からの圧力に立ち向かうことは、難しいことを説明します。その方法とは、自分は何をしたいか、明確に、しっかりと相手に述べることです。圧力を受け入れた後で、その人を非難したりけなしたりすることではありません。

薬物を使うよう圧力を受ける状況で、はっきりと自分の考えを主張し、相手に立ち向かう方法として、単元3で学習した「何をしたい、なぜしたい、実行」のステップを再確認します。

## <よくない仲間の圧力に「ノー」と言う方法>

例：あなたの友人たちが、いっしょにビールを飲もうと圧力をかけてきます。

**何をしたい** あなたが何をしたいのか言う

- ・友だちに自分の『けってい』を伝えます。「私は少しものみたくない」

**なぜしたい** その理由を言う(長い説明や言い訳をしない)

- ・友だちに理由を伝えます。  
「それはまちがっている」「そんなことはしないとお母さんと約束している」

**実行** 自信を持って行う

- ・自分が正しいと思うことをします。
- ・友だちがどうしてもすると言ってきかない場合はその場を去ります。

まっすぐに立つこと、はっきりと、しっかりと話すこと、そして長い説明、弁解、言い訳を避けることを強調します。「ノー」は、何度かくり返す必要があることもあります。「私はもう飲まないと言いました。気持ちを変えるつもりはありません」

## 4 子どもたちと、よくない「内」と「外」の圧力の両方に対処する方法を実演する

実演するために、下の状況を説明します。

友人が何人か公園に集まっていました。彼らに近寄ると、ほとんどがタバコを吸っていました。そのとき、友人の一人が、あなたにタバコを吸うようすすめます。

協力してくれる子どもに次の質問に答えさせます：

- ◇ あなたが感じるかもしれない、よくない「内」からの圧力を述べてください。
- ◇ あなたが自分自身に言うことができる、役に立つメッセージは何ですか？
- ◇ あなたが言うことができる、することができるよい行動は何ですか？

先生は圧力を与える役を演じます。圧力を増し、協力してくれる子が「ノー」を繰り返したり、その場を離れたり、あるいは他のことを提案するなど、最後まで圧力に立ち向かうようにします。

演技が終わったら、子どもたち全員にたずねます。

- ◇ (協力してくれた子の名前)の態度は相手を説得する力があつたと思いますか？ その理由を言いましょう？
- ◇ 演じた状況に対処するために、他の方法はありますか？



## パート3: やってみる (25分)

### 1 2人組で学んだスキルを練習する

資料17を配り、それを子どもたちと確認します。そして、2人組を作り、資料18の状況と質問を一緒に声に出して読み、2人で話し合うように言います。その後で何組かに考えたことを発表させます。

## 単元4 授業6

次に先生が、薬物をすすめる役を演じ、子ども1人に2人組で考えた「ノー」という言葉を言わせます。そして、圧力を“強め”、しっかりと立ち向かわなければならないように、「だれもわからないよ!」などの言葉を使って、よくない誘いを続け、スキルを使った対応を行わせます(2人組で、子どもどうし圧力をかけさせないでください。大人だけがよくない役を演じてください)。

資料にある他の状況でも同様に行います。

### 留意点!

### Cautions!

状況は、パート1のリストや、子どもたちの実態に合わせ、修正、追加などを行ってください。

## 2 薬物を断る時、友人どうしが互いを支援できる方法を実演する

資料18から2、3の状況を選びます。3、4人の子どもたちに協力を求め、薬物に巻き込まれることを防ぐためにできる、友だちどうしの支援方法を、先生といっしょに演じます。

その後で、薬物を使うよう圧力を受ける状況で、自分の考えを主張することや、お互いに支援することの重要性を子どもたちと話し合います。

### 【ふりかえりの質問】

子どもたちに、次の質問に対し、答えを声に出さず、考えさせます。その後で何人かに答を発表させます。

- あなたが薬物にかかわりたくない理由を考えてください(紙に書かせ、提出させます。名前は出さずに、いくつか声に出して読みます)。
- 今、あなたは薬物を使うよう圧力を受けているとします。自分自身に何と言いますか? また、あなたに圧力をかけている相手になんと言いますか?
- 5年生の子どもたちが、互いに薬物の圧力から逃れるために助け合える方法をいくつかあげましょう。

## パート4: つかってみる

次の中からいくつかの活動を選び、子どもたちが授業で学んだことを生活の中で応用するための練習としてやってみましょう。



## ◆ライフスキル「みんなのれんしゅうちょう」

### 言い方のいろいろ

ライフスキル『みんなのれんしゅうちょう』の6、7ページを開き、4つの漫画を読むように言います。そして、自分の絵を描き、セリフの枠(雲の形)の中に、「ノー」の気持を示す言葉を書かせます。5と6には、薬物の使うよう圧力を受ける場面と、それに対する「ノー」を伝える言葉の両方を描きます。完成したらお互いに見せ合います。

### 言い方のいろいろ

今日は私たちの家パーティーに行きました。すると、他人の友人が「物の取置に付いて、いっしょに、お酒を飲むんだぞ」と言ってきました。はっきりと断り、別のことをしようと思ってきました。

公園で友だちと遊んでいると、友だちの一人が「お酒を飲んで、おもしろい場所に出してあげようよ」と言ってきました。ゲームをしながら、それをやめるよう言ってきました。

学校からの帰り道、友だちが「お酒を飲んで、いっしょに遊んでみるよ」と言ってきました。お酒は飲まないと言って、はっきりと断ってきました。

### “NO”(ノー)

作り手：1からのまきには、自分の考えを、どうやって伝えるか、セリフを書きましょう。5からのまきには、薬物が与えられる場面、その場はどうなるかを、絵と文とで書いてください。

名前： \_\_\_\_\_

友だちの家に遊びに行くと、友だちが「お酒を飲むんだぞ」と言ってきました。はっきりと断りましょう。

(自分で考えましょう) \_\_\_\_\_ どうやって断りますか？

(自分で考えましょう) \_\_\_\_\_ どうやって断りますか？

## ◆国語

### 封筒を、お願いします！

「質問!」の封筒の中の新しい投書を確認し、先生または適切な人がそれに答えます。

### 誰かが、「NO」といってれば

子どもたちと協力して、薬物に関わる事件の記事のファイルを作ります。そして、誰かがしっかり主張していたり、あるいは薬物を拒否していれば、どのように結果が違っていたか、またどんな圧力があったのかなどについて話し合います。

次のような事件があるでしょう。

- ◇ お酒を飲んで交通事故を起こした10代の若者たち
- ◇ 薬物を使って捕まったタレントやスポーツ選手
- ◇ お酒の一気に飲みで死んだ大学生

### ショートストーリー

子どもたちに、若者が薬物を使うよう圧力を受けている状況について、ブレインストーミングをさせます。そして、黒板にあげられた状況から各自一つを選び、主人公が薬物のすすめに対して「ノー」と言って終わる短いお話を書かせます。2人組の活動としてもよいでしょう。

子どもたちには、まず下書きをし、修正し、最後に完成版を書くように言い、できたものは互いに見せ合います(これらを、授業7のプロジェクトとして、年少の子どもたちに発表することもできます)。

### 【ふりかえりの質問】

- 5年生の子どもたちは、どの程度薬物を使うよう圧力を受けていると思いますか？
- 薬物を使うよう圧力を受けても、それに立ち向かえる準備が出来たと思いますか？
- あなたが自分の考えをしっかりと主張する方法を学ぶことは、圧力に立ち向かうために役立ちますか？